

# 目次

巻頭図版

序

例言・凡例

第1章 序論（茶谷）	1
第1節 出土建築部材の研究	1
第2節 青谷上寺地遺跡の遺跡像	1
第3節 本書における考察の視点	2
第2章 青谷上寺地遺跡出土建築部材の特性（茶谷）	
第1節 建築部材の統計的分析	3
第2節 各分類の特徴および分析	16
第3章 青谷上寺地遺跡の建築関連遺構（茶谷）	21
第1節 掘立柱建物	21
第2節 竪穴住居跡	23
第3節 建築部材が多数出土した遺構	24
第4章 青谷上寺地遺跡出土建築部材による弥生建築の復元（浅川・嶋田）	27
1 青谷上寺地遺跡出土建築部材研究の流れ	27
2 「最長の柱材」による楼観の復元	30
3 「最長の垂木」による大型建物の復元	40
4 妻木晩田遺跡「高床倉庫」の復元	61
5 まとめ	67
第5章 建築部材にみる工作技術（渡邊）	73
1 はじめに	73
2 出土建築部材と建築構成部位	73
3 建築工作技術の考察	79
4 ユーラシア大陸における技術的系譜	87
5 小結	88
第6章 自然科学分析の成果	91
第1節 青谷上寺地遺跡出土建築材の樹種について（古川・芦田）	91
第2節 青谷上寺地遺跡出土木製品の年輪年代（光谷）	99
第7章 総括（茶谷）	103
第1節 青谷上寺地遺跡出土建築部材の特性	103
第2節 青谷上寺地遺跡の集落像	103
第3節 今後の課題	104

図版